授業科目　生理学実習Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学（前半）・作業
宮岡　洋三、川上　心也	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

【概要】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

実験項目は「二点弁別閾値の測定、重量弁別の実験、肺活量・１秒率の測定、血圧の測定、心電図（ECG）の記録・解析、表面筋電図（EMG）の記録、唾液分泌量の測定」であり、実施の順序はサイト上（後述）に公開する。

【学習目標】

１．本学の「生理学サイト（http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）」にアクセスし、実習資料を入手できる
２．入手した実習資料を基に、実験遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
３．実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる
４．採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
５．まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習ガイダンス		実習、担当：宮岡　洋三　他
2	実験項目－１		実習、担当：宮岡　洋三　他
3	実験項目－２		実習、担当：宮岡　洋三　他
4	実験項目－３		実習、担当：宮岡　洋三　他
5	課題要旨の講評（実習項目－１）		実習、担当：宮岡　洋三　他
6	実験項目－４		実習、担当：宮岡　洋三　他
7	実験項目－５		実習、担当：宮岡　洋三　他
8	課題要旨の講評（実習項目－２、３）		実習、担当：宮岡　洋三　他
9	実習項目－６		実習、担当：宮岡　洋三　他
10	実習項目－７		実習、担当：宮岡　洋三　他
11	課題要旨の講評（実習項目－４、５）		実習、担当：宮岡　洋三　他
12	実習項目－８		実習、担当：宮岡　洋三　他
13	実習項目－８		実習、担当：宮岡　洋三　他
14	課題要旨の講評（実習項目－６、７）		実習、担当：宮岡　洋三　他
15	課題要旨の講評（実習項目－８）		実習、担当：宮岡　洋三　他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	生理学テキスト（第６版）	大地　陸男	文光堂	2010・4,800円＋税
参考書				
その他の資料	「生理学サイト」（http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）			

【評価方法】

成績は「出席」、「課題要旨」ならびに「期末試験」の合計点で評価する（とくに「課題要旨」を重視する）。

【履修上の留意点】

実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。

「課題要旨」の作成に当たって、先輩や友人のもののコピー＆ペーストなど不正行為があった場合には、本科目の「不合格」を含めた厳しい対応があり得るので呉々も注意する。

なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。